

## 令和5年度 学校関係者評価議事録

- 1、日 時 令和5年5月30日（火）午後4時～午後5時30分  
1、場 所 学校法人岡崎学園（通信制課程校舎） 会議室  
1、出席委員 13名

### 【学校関係者協会員7名】

矢内 昭秀 氏（大阪ダイハツ販売株式会社）  
車谷 知紀 氏（竹菱自動車販売株式会社）  
奥田 恵造 氏（関西大学 職員）  
三浦 哉子 氏（学びリンク株式会社）  
大矢 敬道 氏（黒田寺 副住職）  
佐々木 大介 氏（正定寺 住職）  
東本 秀雄 氏（町会長）

### 【説明者6名】

岡崎 顯正（学岡崎学園 理事長）  
岡崎泰道（学岡崎学園 副理事長兼法人事務長）  
太田 功二（東朋学園高等学校・東朋高等専修学校 校長）  
中田 博隆（大阪自動車整備専門学校 校長）  
永田 淳義（東朋学園高等学校 教頭）  
山田 晃子（東朋高等専修学校 教頭）

- 1、議 案 第1号議案 自己点検評価、保護者等のアンケート集計結果報告  
第2号議案 評価、アンケート各項目についての意見交換  
第3号議案 大阪自動車整備専門学校の校舎建替え及び仮校舎について  
第4号議案 旧生野南小学校の運営について

### 議事の経過及びその結果

上記のとおり出席があったので、理事長が議長となり定刻開会を宣し、議案の審議に入った。

#### 第1号議案 自己点検評価、保護者等のアンケート集計結果報告

議長は、各学校の説明者へ自己点検・自己評価の報告を指示した。

各学校の説明者はそれぞれの報告を説明し、各項目に対しての反省点及び改善点を説明した。

また、保護者等のアンケートの集計結果を報告し、問題として挙げられた個所や継続していくべき事項を報告した。

学校評価委員は自己点検・自己評価に関し、内容に問題はなく適切であると評価した。

## 第2号議案 第1号議案に於いて各評価項目に対する意見交換

議長は上記評価項目に対するの改善点等の報告を踏まえた上で、次年度どのように取り組むべきか意見を出してもらいたい旨を伝えた。

委員の意見として、継続している事項においても現状維持が適切であるかどうか、毎年必ず検討すべきであるとの意見があった。また、学校を運営していくにあたって、子どもの数の減少に伴い長期的な観点で考えていく必要があり、その意識は教職員全体が持つべきであるとの意見があった。

各評価項目における評価委員からの具体的な意見は、別途学校関係者評価 報告書に記載する。

## 第3号議案 大阪自動車整備専門学校の校舎建替え及び仮校舎について

令和2年度より検討を重ねてきた専門課程の校舎建替え及び仮校舎について、大阪自動車整備専門学校の校長より進捗報告を行った。

すでに別途報告済であるが、建替えの間の仮校舎について、旧生野南小学校を25年間の間借り受け、令和5年度の後期から令和7年度末まで大阪自動車整備専門学校として運営する。6月から9月中旬まで改装工事を行い、仮校舎での授業開始は10月からの予定である。

## 第4号議案 旧生野南小学校の運営について

第3号議案にて説明のあった旧生野南小学校の25年間の運営について、副理事長兼法人事務長より説明があった。

この旧生野南小学校は生野区の管理下にあった当初から地域の活用が盛んな場所であり、その形態を引き継ぐ形で岡崎学園が運営することとなっている。ただ建物として借り受けるだけでなく、地域コミュニティ機能を備えた事業活動を展開する予定であり、防災拠点になる他、地域の生涯学習・学び直しの場の提供や、地域住民も参加可能なイベント等を実施する予定である。

大阪自動車整備専門学校の新校舎完成後においては、東朋学園高等学校である通信制高校の分校としての活用、また現時点ではあくまで予定であるが日本語学校の開校を目指している。

地域との交流の中で、岡崎学園の教育に対する理解を深めていただくとともに、社会とのつながりを持った教育が学生・生徒または岡崎学園全体の教育活動にも好影響となることを期待している。運営にあたり、委員の皆様のさらなるご指導・ご鞭撻をお願いしたい、との報告があった。

閉会に際し、議長は最後に各委員の方にお礼を申し上げ、多様化が顕著な現社会において、学園の軸となる支援教育は現代のニーズに合ったものであると自負しているが、生徒一人一人の教育的ニーズに対応するため、教員自ら指導面での専門的な知識や技能の向上に向けて努力し、関係機関とも密な連携を取りながら、教育活動を行っていく。そういった教職員の質の向上を始め、教育カリキュラムの充実を図る旨を申し伝えた。

また、社会に役立つ人材を育成するにあたっては、地域社会・住民の方々のご理解・ご協力が不可欠であると述べた。そういった面では、今回の生野南地域での教育活動の展開に大いに期待

している。地域の方々の信頼を確実に積み上げていけるよう、着実な事業展開を目指す必要があると理解している。学園の安定した経営を図るとともに、次年度に向け、関係企業等へご寄付のお願いにてさらなる教育環境の充実のために、皆様方からの温かいご支援とご協力を賜りますよう、お願いを申し上げ、本委員会会議は午後5時30分に閉会をした。